



新巻や雲くく小 秋夕

物それし

う修飛やや讀本 糸魚

ふましくく 穀子洗

おの巻しゆくうある 阿佛

霞ややまのまよ京

梅うあるやふくまゆるる 燈月

とらしり上

あわらぬ花の

あやゆ

古まの赤つらまよ

脊戸へ来たる人の後利也 壺一

梅乃しりれ

燈を飛よこしる 掃をとまこ

古れ 葦茂もくいつ

ふあていつ 鹿よふまあるはの 雲が

筆峰

